



緑丘トピックス

令和3年度

1月31日(月)発行



Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校 TEL/FAX 0142-24-3021



人の役に立つとは？

校長 須藤 克志

令和4年（2022年）が始まりました。今年度残り3ヶ月、やり残したことの実現のため、全力で駆け抜けていきましょう。特に3年生の受験者達は最後まであきらめることなく夢を追い続けてください。応援しています！

さて、今本校では、学校の集大成を魅せるグリーンプロジェクトを展開しています。その中で、地域への感謝を込めて「ボランティア100」を実施しています。今年度も、多くの生徒の皆さんが自ら考え実行するボランティア活動がたくさん行われてきました。防災に対して、高齢者に対して、子どもに対して、環境保護に対して、エコ活動について、など30以上の活動が行われ、どれも素晴らしい取組として周囲から賞賛されています。

（まだ100には遠いですが・・・）ところで、なぜボランティアが必要なのでしょう？ボランティア活動をするにあたって、次の4原則があります。

- ①（自主性）自分の意志で行う
- ②（無償性）人のために行う
- ③（社会性）人とのつながりができます
- ④（先駆性）そこから新たなサービスなどが生まれます

この原則からも、ボランティア活動は、地域や社会をよりよくしていくことに役立つとともに、活動する自分自身も豊かにしてくれる力を持っています。きっと自ら進んで行き、それが「感謝」の気持ちとして返されたとき、充実し成長した気持ちになったことでしょう。校長室にプレゼンをしにくる皆さんの前向きな姿勢には頭が下がる思いです。私はそんな伊達緑丘高校生徒の皆さんを誇りに思います。ボランティア100もそろそろ折り返し地点に来ています。閉校までの日々、更なる皆さんの活動を期待しています。

成人年齢引き下げ講演会 弁護士インタビュー

昨年12月3日（金）卒業生で弁護士の八木橋俊輔さんを迎えて、18歳に引き下げられる成人年齢に関する様々なメリット・デメリットを教えていただきました。

まったく新しいことなので、生徒はもちろんのこと先生方もたいへん勉強になったとの声が聞かれました。講演会の後は、八木橋さんに直接インタビューし、成人年齢引き下げのことや弁護士としての活躍ぶりなどを伺いました。



卒業生から学ぶ

12月6日(月)、卒業生で芸術家の渡辺元佳さんを迎えて、現在の活動やそこに至るまでの経緯などを伺いました。芸術に対する真摯な姿勢やユニークな発想に触れ、生徒たちはたいへん刺激を受けたようです。



12月4日(土)には、伊達市青少年教育事業の一環で渡辺元佳さんを招いて「だてっ子遊び・学びの教室」が伊達市東地区コミュニティセンターで開催されました。



クリスマス 交流会

日頃お世話になっている地域の方々と交流するために、稀府小学校の児童生徒との交流会や、町内の老人クラブへのプレゼント企画などを行いました。



稀府小学習ボランティア

12月27日(月)稀府小学校で、高校生が先生となり「学習会」を開きました。日頃授業を聞いている立場の生徒ですが、教えることの難しさを痛感したようです。



2月の行事予定

1	火	3年家庭学習期間(～25日) マナー講座(2年)
2	水	第4回高2公務員模試
3	木	卒業認定会議(完全下校)
4	金	年度末反省(分掌・5分短縮) 漢字検定
5	土	大学入学共通テスト模試(2年)
6	日	大学入学共通テスト模試(2年)
7	月	年度末反省(学年・5分短縮)
8	火	
9	水	
10	木	ALT 来校日 (推薦入学面接)
11	金	建国記念の日
12	土	第36回定期演奏会(本校体育館)
13	日	
14	月	部長主任会議
15	火	
16	水	年度末反省会議①・5分短縮授業
17	木	
18	金	年度末反省会議②・5分短縮授業
19	土	校内清掃(ワックス清掃)
20	日	英語検定③(二次 他校受験) 校内清掃(〃)
21	月	職員会議
22	火	学年末考査①
23	水	天皇誕生日
24	木	学年末考査②
25	金	学年末考査③
26	土	
27	日	
28	月	学年末考査④ 同窓会入会式 卒業式予行

《編集後記》

いったんは収束したかに見えたコロナ感染症ですが、「オミクロン」という変異株が猛威を振るい、各地であつという間に最多感染者数を更新しています。伊達市内でも高齢者には3回目のワクチン接種の案内が届き始めています。年末年始と慌ただしく過ぎ、冬の寒さも真っ盛りです。

平穏無事な一年が早く来てほしいものです。